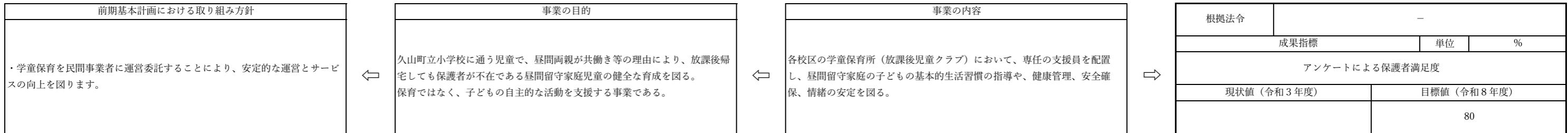


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野		地域経営		政策		安心な子育て環境をつくる				施策		②「地域子ども・子育て支援事業」の継続と充実			
実施年度	令和	6	年度	予算科目	会計	款	項	目	継続	事業名	学童保育所運営事業（放課後児童健全育成事業）				担当課		教育課			
					1	10	1	3							担当者		小森 真奈美			

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度					
Plan (計画)	令和4年度山田小学童で待機児童が発生したため、待機児童をなくすことが課題である。			今年度より山田小学童の待機児童をなくすため、小ホールを使用することとなった。山田小も授業等で使うため、入念に打ち合わせを行う必要がある。			アンケートの結果や、保護者会と委託事業者との3者協議を通じ、より保護者の満足感を得られる事業になるよう計画を行う。			アンケートの結果や、保護者会と委託事業者との3者協議を通じ、より保護者の満足感を得られる事業になるよう計画を行う。								
Do (実行)	山田小学校や委託会社と協議をし、山田小ホールを学童保育所として一時的に使用することになった。			山田小学童においては、体育館の小ホールを使用するなど、既存の施設を利用することにより、効率的に事業を行うことができた。既存の施設利用については、学校への影響が懸念されたが大きなトラブルもなく円滑に事業を進められることができた。			運営内容は事業者に委託しており、トラブルや事故の防止、イベントの開催などについて、年3回3者協議を行い情報共有を図った。 3年間の業務委託最終年にあたり、受託事業者選定を行った。 令和7年度入所申込では電子申請ができるようにし、保護者の利便性の向上を図った。											
活動実績	入所児童数（久原小学童）			入所児童数（久原小学童）			入所児童数（久原小学童）			入所児童数（久原小学童）								
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値			
成果指標	人	90	103	人	120	101	人	120	106	人	120							
	入所児童数（山田小学童）			入所児童数（山田小学童）			入所児童数（山田小学童）			入所児童数（山田小学童）								
Check (評価)	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値			
	人	45	52	人	120	60	人	60	61	人	60							
成果指標	アンケートによる保護者満足度			アンケートによる保護者満足度			アンケートによる保護者満足度			アンケートによる保護者満足度			アンケートによる保護者満足度					
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値			
Check (評価)	%	80	72	%	80	67	%	80	75	%	80		%	80				
	B	令和5年度から山田小学童の待機児童をなくすことができた。			B	保護者アンケートの結果、「満足」が57%と目標値を下回った。しかし、「普通」が42%、「不満」は1%と、不満を感じている保護者は少なかった。			A	事業者との連携を図り、大きな問題や事故なく運営することができた。								
Action (改善)	令和5年度の待機児童解消に向けて準備を進め、環境改善につとめた。保護者のニーズも高く事業を進めていく必要がある。			昨年度までの待機児童の問題は解消されたが、より高い保護者満足度を目指していく必要がある。アンケートの結果や保護者会と委託事業者との3者協議を通して、より保護者の満足感を得られる事業に改善していく必要がある。			働く保護者が増え、学童保育の必要性が高まっている。次年度に向けた体制整備を早めに行う必要がある。											
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算			
直接事業費（歳出）	25671	(千円)	25524	(千円)	32443	(千円)	32205	(千円)	32580	(千円)	32810	(千円)	34146	(千円)		(千円)		(千円)
事業費財源	24881		24852		32443		32205		24510		31351		25510		0		0	
特定	18554		18677		12003		17236		16510		26508		16510					
地方債																		
一般	6327		6175		20440		14969		8000		4843		9000					
人件費	789.8		672.2		628.5		626.5		1494.2		1459.8		1553.4		0		0	
人員数	0.1		0.1		0.1		0.1		0.2		0.2		0.2					
人件費単価	7,898		6,722		6,285		6,265		7,471		7,299		7,767					
事業費合計	26,461		26,196		33,072		32,832		34,074		34,270		35,699		0		0	
市民一人あたりの負担額	855,344	円	813,414	円	2,262,511	円	1,674,774	円	1,886,190	円	833,527	円	2,060,717	円	0.000	円	0.000	円

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
健康福祉2-4-18	学童保育所運営事業(放課後児童健全育成事業)

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

自己評価	評価者	小森 真奈美	5 大 ← → 小 1 1
1. そもそも必要な事業か?			
評価理由 児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる環境を整備する為必要な事業である。			
2. 町が実施する必要があるか?			
評価理由 町が実施主体となることが法令等により定められている。 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 国・県等あるいは国・県で類似事業を実施していない。			
3. 実施内容は適切か?			
①有効性 久山村総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 事業の手法・活動内容は適切である。 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。			
評価理由 放課後の児童の安全安心な居場所を確保し、保護者が安心して就労できる環境を整備する事業であり有効な事業である。			
②効率性 事業費に見合った成果を上げている。 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 実施方法の工夫により効率を維持しながらコスト削減を図っている。			
評価理由 放課後児童の健全育成の場を確保するため、プロポーザル入札において審査し専門の民間事業者を選定し、業務委託を行い適切な保育環境を確保している。また国県補助金を活用しながら実施している。			
③公平性・透明性 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。			
評価理由 利用者に負担してもらう、国県補助事業を活用しながら利用者の負担軽減を図っている。また、広報紙・ホームページを活用し、周知している。			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

学童保育所は、主に放課後の子ども達の居場所づくりに大変重要な役割をになっており、必要性は非常に高い。
事業受託業者は他自治体でも事業に携わっており経験豊富であるため、さまざまな状況に対応している。
また、保護者へのアンケートを定期的に実施し、結果を基に保護者のニーズに応える取り組みを行っていることは高く評価できる。
申込者が増加しており、今後、保育場所や支援員の増員など検討しながら、町民のニーズに対応することを検討していく。

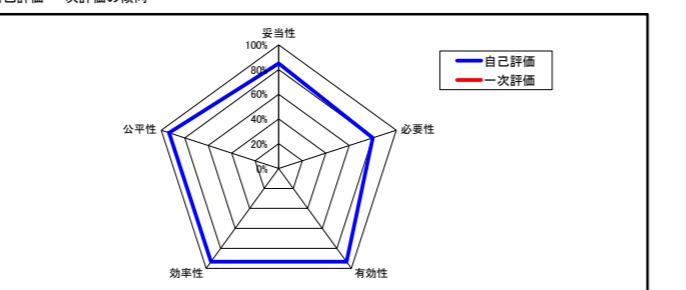
CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。			
No.1	自己評価=1次評価となるため未入力		
一次評価	評価者	選択してください	5 大 ← → 小 1 1
1. そもそも必要な事業か?			
評価理由 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			
2. 町が実施する必要があるか?			
評価理由 町が実施主体となることが法令等により定められている。 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 国・県等あるいは国・県で類似事業を実施していない。			
3. 実施内容は適切か?			
①有効性 久山村総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 事業の手法・活動内容は適切である。 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。			
評価理由 放課後の児童の安全安心な居場所を確保し、保護者が安心して就労できる環境を整備する事業であり有効な事業である。			
②効率性 事業費に見合った成果を上げている。 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 実施方法の工夫により効率を維持しながらコスト削減を図っている。			
評価理由 放課後児童の健全育成の場を確保するため、プロポーザル入札において審査し専門の民間事業者を選定し、業務委託を行い適切な保育環境を確保している。また国県補助金を活用しながら実施している。			
③公平性・透明性 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。			
評価理由 利用者に負担してもらう、国県補助事業を活用しながら利用者の負担軽減を図っている。また、広報紙・ホームページを活用し、周知している。			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

学童保育所は、主に放課後の子ども達の居場所づくりに大変重要な役割をになっており、必要性は非常に高い。
事業受託業者は他自治体でも事業に携わっており経験豊富であるため、さまざまな状況に対応している。
また、保護者へのアンケートを定期的に実施し、結果を基に保護者のニーズに応える取り組みを行っていることは高く評価できる。
申込者が増加しており、今後、保育場所や支援員の増員など検討しながら、町民のニーズに対応することを検討していく。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。			
No.2	自己評価=1次評価となるため未入力		
二次評価	評価者	江上 智恵	5 大 ← → 小 1 1
1. そもそも必要な事業か?			
評価理由 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			
2. 町が実施する必要があるか?			
評価理由 町が実施主体となることが法令等により定められている。 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 国・県等あるいは国・県で類似事業を実施していない。			
3. 実施内容は適切か?			
①有効性 久山村総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 事業の手法・活動内容は適切である。 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。			
評価理由 放課後の児童の安全安心な居場所を確保し、保護者が安心して就労できる環境を整備する事業であり有効な事業である。			
②効率性 事業費に見合った成果を上げている。 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 実施方法の工夫により効率を維持しながらコスト削減を図っている。			
評価理由 放課後児童の健全育成の場を確保するため、プロポーザル入札において審査し専門の民間事業者を選定し、業務委託を行い適切な保育環境を確保している。また国県補助金を活用しながら実施している。			
③公平性・透明性 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。			
評価理由 利用者に負担してもらう、国県補助事業を活用しながら利用者の負担軽減を図っている。また、広報紙・ホームページを活用し、周知している。			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。			
No.3	自己評価=1次評価となるため未入力		
外部評価	外部評価委員会の意見		
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			
B 民間委託により運営面での工夫が進み、保護者アンケートでも高い満足度が示されていることから、評価できる事業である。 一方、アンケート結果から、学校との連携不足(特に子どもが学校のトラブルを抱えたまま通所する場合の対応)や、連絡アプリの使いづらさといった課題が明確で、その改善が求められる。また、若い世代の定住促進に向け、本事業の情報発信強化が必要である。 指標は、より細かい内容を把握・分析し、改善につなげていく観点から、保護者の就労継続への寄与度や体験活動・安全性への満足度等に見直す必要がある。 今後も、保護者・受託事業者・町による意見協議や、通所児童の声を拾う工夫を行い、事業改善に継続して取り組むことが望まれる。			
外部評価委員会の意見 経営者評価 経営者評価			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			
A 本事業は、多様化する子育てニーズに対応するため、従来の保護者会による自主運営から町が事業者へ業務委託し、受益者負担を得ながら運営している。令和6年度は待機児童を出さず安定的に運営しており、保護者アンケートでも高い満足度が示されている。 利用者満足度をさらに高める取り組みである、連絡アプリの充実や学校との連携強化を検討する上では、受益者負担の在り方を検証し、事業者との協議や他自治体の状況調査を行なながら改善を進める必要がある。また、事業者アンケートを補完する意味で、町もアンケートを実施することで幅広く利用者の声を収集し、事業運営に活かしていくといいたい。なお、その結果については、活動指標に反映していく考え方である。 事業のPRについては、町全体の子育て環境のPRとあわせて発信するが、利用者增加に伴う受け皿確保や運営費用増への影響を踏まえ、受益者負担とのバランスを検討して実施する。			
経営者会議の評価 経営者会議			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。			
No.4	自己評価=1次評価となるため未入力		
外部評価	外部評価委員会の意見		
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			
B 民間委託により運営面での工夫が進み、保護者アンケートでも高い満足度が示されていることから、評価できる事業である。 一方、アンケート結果から、学校との連携不足(特に子どもが学校のトラブルを抱えたまま通所する場合の対応)や、連絡アプリの使いづらさといった課題が明確で、その改善が求められる。また、若い世代の定住促進に向け、本事業の情報発信強化が必要である。 指標は、より細かい内容を把握・分析し、改善につなげていく観点から、保護者の就労継続への寄与度や体験活動・安全性への満足度等に見直す必要がある。 今後も、保護者・受託事業者・町による意見協議や、通所児童の声を拾う工夫を行い、事業改善に継続して取り組むことが望まれる。			
外部評価委員会の意見 経営者評価 経営者評価			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させ paramStringがある <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			
A 本事業は、多様化する子育てニーズに対応するため、従来の保護者会による自主運営から町が事業者へ業務委託し、受益者負担を得ながら運営している。令和6年度は待機児童を出さず安定的に運営しており、保護者アンケートでも高い満足度が示されている。 利用者満足度をさらに高める取り組みである、連絡アプリの充実や学校との連携強化を検討する上では、受益者負担の在り方を検証し、事業者との協議や他自治体の状況調査を行なながら改善を進める必要がある。また、事業者アンケートを補完する意味で、町もアンケートを実施することで幅広く利用者の声を収集し、事業運営に活かしていくといいたい。なお、その結果については、活動指標に反映していく考え方である。 事業のPRについては、町全体の子育て環境のPRとあわせて発信するが、利用者増加に伴う受け皿確保や運営費用増への影響を踏まえ、受益者負担とのバランスを検討して実施する。			
経営者会議の評価 経営者会議			
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図 paramStringがある <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実 paramStringがある <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。			
No.5	自己評価=1次評価となるため未入力		
外部評価	外部評価委員会の意見		
今後の方向性 改善・見直しの具体的な内容			
<input type="checkbox"/> S重視化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図 paramStringがある <input type="checkbox"/> A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実 paramStringがある <input checked="" type="checkbox"/> B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> D廃止 事業の廃止を検討する必要がある <input type="checkbox"/> E事業完了 事業完了とする			
B 民間委託により運営面での工夫が進み、保護者アンケートでも高い満足度が示されていることから、評価できる事業である。 一方、アンケート結果から、学校との連携不足(特に子どもが学校のトラブルを抱えたまま通所する場合の対応)や			